

四国村

【イベントチケットのご購入】

作品鑑賞パスポートのご提示でチケットの料金が割引となるイベントがあります。その他、詳しくは公式ウェブサイトをご覧ください。

【前売券】 オンラインで購入   **イープラス**

パソコン / 携帯電話 / スマートフォンからオンラインでお買い求め頂けます。
 ・イープラス<<https://eplus.jp>>にアクセス&「瀬戸内国際芸術祭」で検索!
 ・Peatix<<https://peatix.com>>にアクセス&「瀬戸内国際芸術祭」で検索!
 窓口で購入 | 瀬戸内国際芸術祭2019の会期中、高松港総合案内所、宇野港案内所にてお買い求め頂けます。
 イベントによっては、その他の窓口でもご購入いただけます。詳細は瀬戸内国際芸術祭総合案内所までお問い合わせください。

【当日券】 当日券は各イベント会場でのみ販売します。

主催：瀬戸内国際芸術祭実行委員会

【お問合せ】 瀬戸内国際芸術祭総合案内所

TEL | 087-813-2244 E-MAIL | info@setouchi-artfest.jp
<https://setouchi-artfest.jp>

四国村って？

四国村(四国民家博物館)は源平の古戦場として知られる屋島山麓の地に、四国各地から古い民家を移築復元した野外博物館です。自然あふれる約50,000㎡の敷地には、江戸～大正期にかけての地方色豊かな建物が配置されており、当時の生活の様子がうかがえるよう、たくさんの民具も展示されています。安藤忠雄氏設計「四国村ギャラリー」では、絵画や彫刻、オリエントの美術品などを展示し、四国村の新たな一面を見ることができます。また、四季折々の植物が植えられており、季節の移り変わりを感じながら先人たちの智恵や工夫、文化に触れることができます。お食事・休憩には、茅葺きの古民家を改装した讃岐うどん「わら家」、神戸の異人館を移築した「ティールーム 異人館」をご利用いただけます。

四国村(公益財団法人 四国民家博物館)

〒761-0112 香川県高松市屋島中町91

info@shikokumura.or.jp

TEL:087-843-3111 / FAX:087-844-1831

<https://www.shikokumura.or.jp/>



【開村】 8時30分(年中無休) 【閉村】 18時00分(4月～10月) / 17時30分(11月～3月)

※入村は閉村の1時間前までとします。

※7/20(土)、10/5(土)はイベント開催のため17時閉村です。(入村は16時まで)

【入村料】

一般1,000円、高校生600円、小中学生400円

※下記の方は割引が適用されます。

●障がい者手帳ご提示の方 ●各種割引券等ご持参の方 ●25名様以上の団体

●幼児は無料 ※高齢者割引はございません ※ペットも条件付きで入場可能です

※瀬戸内国際芸術祭2019期間中に作品鑑賞パスポートを提示された方は入村料が半額になります。

【駐車施設】

無料駐車場あり(バス

5台、普通車200台)

【アクセス】

JR高松駅から高徳線

でJR屋島駅、もしくは、

ことでん高松築港駅から

ことでん志度線でこと

でん屋島駅(瓦町駅)

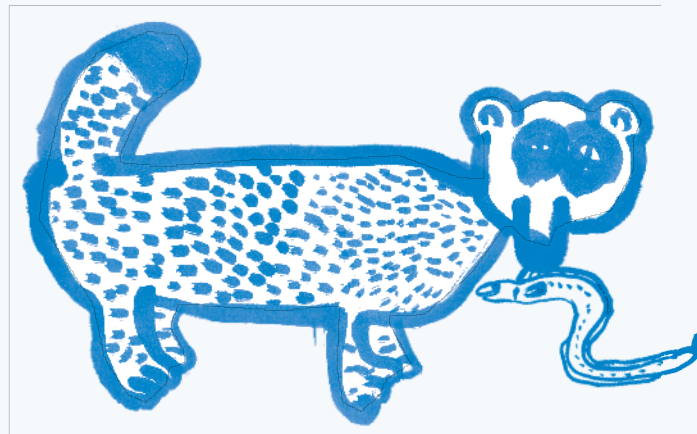
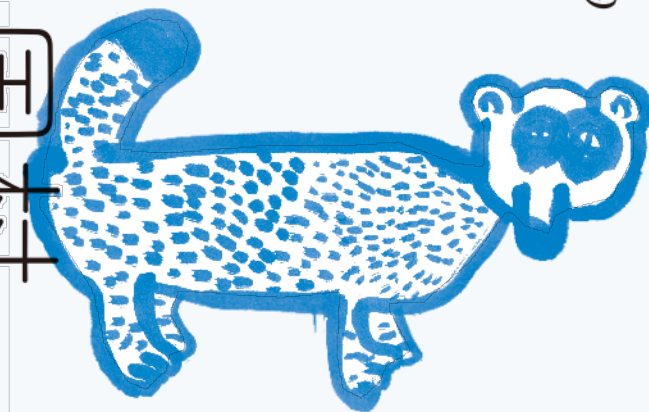
で志度線に乗り換え

に行き、そこから「屋島

山上シャトルバス」で四

国村に向かいます。

※イベント日は駐車場の混雑が予想されます。公共交通機関をご利用ください。



s
u
m
m
e
r

S E T O U C H I
T R I E N N A L E
2 0 1 9



瀬戸内国際芸術祭2019 県内連携事業

四国村ギャラリー 特別企画展開催

猪熊弦一郎展

「私の好きなもの

～ My Favorite Things ～」

【会期】

Part 1 4月26日(金)～7月13日(土)

Part 2 7月19日(金)～9月8日(日)

猪熊弦一郎「私の好きなもの」1946年
©公益財団法人ミモロ美術振興財団

夏会期のイベント

音楽 | E35

7.20sat

切腹ピストルズ

せっぷくびすとるず・神出鬼没「村をつくる」の巻

Seppuku Pistols Setouchi Tours

【料金】前売り¥1,000、当日¥1,500、パスポート割引¥1,300、小中高¥800(前売り・当日とも)

※ peatix、イープラス、四国村、DUKE SHOP 高松店にて6/20より販売。

無料送迎バス付(高松駅発着)※ 一般前売 ¥1,000、小中高¥800

※無料送迎バスは、こちらのチケットをお持ちの方のみご乗車いただけます。
チケットは、Peatixにて6/20より販売。



「日本を江戸にせよ!」を合言葉に、野良着で暮らしながら、和楽器による演奏を全国各地で繰り広げる。神出鬼没な演奏を得意とし、地方探索と研究、映画、職人、農、寺子屋など、隊員それぞれの活動も行う。

そんな切腹ピストルズが屋島の四国村にて「村をつくる」の巻を展開する。
《俗称:〇一村》

11:00~15:00 四国村に点在する古民家にて

- ・型染め屋(体験)(有料)
- ・着物屋(野良着販売/修理)(修理の度合いにより有料)
- ・寺子屋/手習所(体験/詩吟、尺八、囃子など)(無料)
- ・がま口屋(体験/販売)(有料)
- ・人相書朱印承り(体験)(有料)
- ・履物屋(体験/販売/修理)(有料)
- ・せっぷくびすとるず名物みやげ

などを展開。その他村内で駕籠昇(かごかき)や案内口上仕切りを予定している。

※当日の四国村の開村時間は8:30~17:00(最終入村16:00)

※瀬戸内国際芸術祭作品鑑賞パスポート提示で入村料半額割引となります。

※ライブに参加のお客さまも17:00に一旦村外へ退出、18:00から再入場(別途チケット要)していただきます。

19:00からは村内の小豆島農村歌舞伎舞台にてワンマンライブ(乱痴気騒ぎ)を敢行する。(18:00開場、19:00開演~20:00終演予定)

チケット取り扱い:peatix、イープラス、四国村、DUKE SHOP 高松店

※ワンマンライブ参加の方はワンマンライブのチケットで18:00~のみ入村可能ですが村内鑑賞はできません。

・客席はオールスタンディングとなります。

・小雨決行(荒天中止)。客席には屋根がありません。雨天の際は、雨具を各自ご用意ください。

【food & drink】六ろく、時宅

■ スペシャルツアー

夏会期から北浜エリアで展開する「北浜の小さな香川ギャラリー」の作品鑑賞・エリア散策と屋島山上の作品鑑賞・山上散策後、オリジナルのお弁当を召し上がりながらイベントを鑑賞していただく特別企画ツアー。

旅行代金:6,800円(貸切バス代、お弁当代、四国村イベント鑑賞チケット代、ガイド代、添乗員代、旅行保険代含む)

※「北浜の小さな香川ギャラリー」の作品鑑賞については、作品鑑賞パスポートの提示、もしくは個別鑑賞料が必要です。

行程:16:00 高松駅 北側バスターミナル11番乗り場出発 →北浜エリア(「北浜の小さな香川ギャラリー」鑑賞)→屋島山上(作品鑑賞・山上散策)→19:00~20:00 四国村イベント鑑賞(お弁当付き)→20:35頃 高松駅 北側バスターミナル到着

○ツアーの詳細、お申込みは、下記の瀬戸内国際芸術祭ツアー販売サイトをご覧ください。

https://setouchi-artfest.kotobus.com/special/shikokumura_summer.html

秋会期のイベント

演劇 | E25

10.5sat 19:00~20:30 (開場18:30)

サファリ・P「悪童日記」

Safari・P「Le Grand Cahier」

【料金】前売り¥2,000、当日¥2,500

パスポート割引¥2,300

小中高¥1,500(前売り・当日とも)

※8月下旬よりチケット販売予定



(あらすじ)戦争が激しくなる中、祖母の家に疎開した双子。しかし祖母は二人を労働者として酷使する。双子はこの悪夢を生き抜く為に、自らの精神と身体を鍛え始める。戦況は厳しくなるが、双子は靴屋・将校・神父など様々な人間に助けられ、時には利用し合って生き延びていく。そして戦争が終わり、父が訪ねてきた。その時、二人がとった行動とは。

サファリ・P | 2015年7月、利賀演劇人コンクール2015にて「財産没収」(作:テネシー・ウィリアムズ)を上演。優秀演出家賞一席を受賞。メンバーは高杉征司、日置あつし、芦谷康介、遠矢、池辺茜、森永泰代、朴建雄、山口茜の8名(2018年8月現在)。パフォーマー(俳優・ダンサー)・技術スタッフ(照明・音響)・演出部(演出家・ドラマトルク)からなる劇団。
既成戯曲・小説から作品を立ち上げる。物語の底に伏流する作者の生い立ち、時代背景などを重視してテキストを紐解き、独自の身体性と発話により舞台化する。

四国村作品

ラム・カツィール

《Suitcase in a Bottle》



Photo: Keizo Kioku

イスラエル出身の作家は移民と絶滅の問題を題材に作品制作するアーティスト。旅行が簡単になるにつれ、1つの場所への定住が困難となった昨今、旅行熱とは逃避なのか、あるいは精神の放浪なのだろうか。作品は住む家のない人々の心情を表し、私達の期待という荷物が未知なる方向へと漂うように、人生の流れと、それが私達をどこに連れて行くのかという疑問を投げかける。精神的、また身体的な家に対する切望は。作家がしばしば自身の作品の中に多用するスーツケースの中に、まるでボトルの中の精霊のように包み込まれている。

ラム・カツィール | 1969年イスラエル生まれ、アメリカとオランダで美術を学び、1990年からアムステルダムを拠点に活動する。

東京藝術大学×

シカゴ美術館附属美術大学

「グローバルアート共同プロジェクト」

(香川県・東京藝術大学連携事業)

展示期間:8月19日(月)~11月4日(月)



日米を代表する二つの大学と香川県との共同プロジェクトとして、両大学の教員、

アラ・ラブ「多かれ少なかれ」

大学院生合

わせて総勢約30名による共同展を開催。シカゴと香川・瀬戸内でのフィールドワークを通して、異なる文化の視点に触れながら、四国村で滞在制作を行う。作品は、四国村の貴重で多様な古民家や変化に富んだ園内全域を会場に展開する。

東京藝術大学 | 日本で最も歴史を有する国内唯一の国立総合芸術大学。香川県とは、2001年~連携事業を実施。2018年に、香川県との連携協定を締結(都道府県としては全国初)。

シカゴ美術館附属美術大学 | アメリカを代表する美術大学で、母体のシカゴ美術館は、アメリカの三大美術館に数えられる。東京藝術大学とは、2015年~、香川県とは、2017年~継続してPJを実施。

屋島山上作品

金氏徹平《S.F (Smoke and Fog)》

屋島や、そこから見える瀬戸内の風景の場所の特性として浮かび上がる、人為と自然の形や空間の関係性、観光と生活、廃墟と生きた建築、現在と歴史、歴史と伝統、山と水族館、コンクリートと岩盤など。それらが混ざり合った状態から着想し、大型看板型の写真作品などによるインスタレーション。



Photo: Keizo Kioku

金氏徹平 | 1978年、京都生まれ。2001年京都市立芸術大学在学中、ロイヤル・カレッジ・オブ・アート(ロンドン)に交換留学。2003年京都市立芸術大学大学院彫刻専攻修了。プラスチック製品や雑誌の切り抜き、おもちゃなど身の回りの物を収集し、コラージュの手法で作品を制作。彫刻、インスタレーション、絵画、写真、映像から舞台美術や装丁など表現は多岐にわたり、近年ではミュージシャンや写真家など様々なジャンルの専門家と積極的にコラボレーションを展開している。

瀬戸内国際芸術祭2019と四国村

瀬戸内国際芸術祭2019では四国村がアート作品展示会場となり、イベント公演や、瀬戸内国際芸術祭2019県内連携事業として四国村ギャラリー企画展が開催されます。

四国各地から古民家や旧跡を移築し、伝統のくらしと文化を現在に伝える活動を続けている四国村ですが生活の集積を記録として、また記憶として伝え、感じていくために、芸術祭ディレクションによる現代の優れたアーティストが作品を設置します。そのまま遺すもの(四国村にある伝統的なもの)と、そこに適宜一過性の動きが加わるもの(現代アートの作品)の共存をお楽しみください。